

# こんにちは 助産師です



## 第9回

家庭分娩(自宅分娩)って聞いたことありますか?お産は病気ではないからとか、入院中上の子のことが気になるからとか、慣れた家や家族の中で産みたいからなどいろいろな理由で病産院ではなく、自宅や実家でのお産を希望する人がいます。今回は家庭分娩についてお話しします。

## 家庭分娩(自宅分娩)

### 妊娠中に必ず検診

かつてのお産はほとんどが助産師(産婆)での家庭分娩でしたが、同じ家庭分娩でも昔と今とでは大きく違いがあります。今は妊娠中2~3回は必ず医師の診察と検査を受けます。それ以外の健診とお産の時は助産師が訪問しますが、妊娠中もお産も異常になるとも助産師は取り扱えません。ですから異常にならないよう日常のことなど健診時にいろいろ時間をかけて話しますが、それでも血圧が高くなったりむくみが出たり

「家で産みたいのに」と泣く人を、「あなたが元気で健康な赤ちゃんを産むために」と病院への受診を必死で説得したこともあります。

**無理は禁物  
家族と共に新しい命を**

順調に経過して「いざお産!」となれば必ず複数の助産師で関わります。難なく産まれる場合も多いですが、今まで変わらなかったのに急に異常になるところも、お産にはあります。もちろん応急の処置を取りつつ急いで医療に繋げることはしますが、病院でのお産とは違って傍に医師がい

ないという事は、助産所や家庭分娩を選ぶ人はしっかりとわかっておいて欲しいのです。家族で家庭分娩に反対する人がいたら、「けっして無理はしないでください」と最初に会った時に話します。とはいえ、家族に囲まれて家で元気な新しい命を迎える幸せを、手伝わせてもらう私達助産師も家族以上にいたたいしています。助産師冥利に尽きる時です。

### 産後のケアに訪問 母への第一歩

そして産後5日間くらいは赤ちゃんとお母さんの状態を診てケアするために訪問します。上の子が気になるからと家でお産を選んだ人が、産後の体の辛い時にその上の子の世話が一番大変だったという笑えない話もありました。家にいる

のでついで動いてしまったり、家族も元気なんだと錯覚してしまうのです。産後を夫婦だけで乗り切った例もありますが、誰かに家事を手伝ってもらうことも考えに入れてください。リスクもしっかりと頭に入れて、どこでどんなお産をするのかじっくり考えるのも母になる第一歩かもしれませんね。

### ◇子育て・女性健康支援センター

月曜~金曜 10時~16時  
土曜日 13時~20時

☎0744-21-2422

電話相談のほか、乳房マッサージ、助産院、訪問助産師の紹介も行っている。

(助産師 岡橋千里)